

※本票（別添 1 - 2）は公表資料として活用する。（取組状況に応じて随時、修正するものとする）。

令和 4 年度茨城県医療提供施設等グループ化推進事業計画（実施報告）書

※これから在宅医療への参入又は拡充に取り組む医療機関等の連携強化を支援する取り組みについて記載するものとする。
 なお、必要に応じ、後方支援病院や在宅医療専門診療所（機能強化型在宅療養支援診療所を含む）などの支援（補完）を得て、在宅医療を提供する切れ目のない診療体制の仕組みづくりに取り組むものである。

【地域で支え合う医療機関等の連携体制を構築するために必要な 3 つの取組】

取組事項	取組内容	現 状 (補助金交付申請の前月から過去 6 箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年 3 月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から 翌年 3 月末までの取組)
<p>1 グループ化した医療機関等を支える取組 ※グループ内の取組に関すること。</p>	<p>①事務局、調整機能を担う方：土浦市医師会事務局 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・年度内に 5 回程度（うち、補助金対象期間は 3 回を予定）開催する。 ・医師会の担当委員会委員及び事業推進の中心的役割を担う各医療機関の代表者を参集し、北部地区内のネットワークの強化に向けた協議を行い、また、在宅医療、介護の連携を促進するために課題には、ICT の運用含めたルール作りが必要であり、土浦市と協働で推進する体制を構築するための協議を行う。 ③体制作りのための取組内容等： ・医師会は会議を企画、必要に応じて資料の作成及び説明、会議の記録等を支援。 ・会議は、「2 患者・家族を中心とした在宅医療を推進するための取組」の内容を中心に進めながら、グループ化した医療機関を支えるための課題について検討するため、先進事例を収集し課題解決に向けた情報の提供を行う。</p>		<p>令和 2 年度に事業着手したが、支援者の件数が伸びず、連携体制が機能していない。(1 回)</p>	<p>先進事例の調査を行い今年度中に事業推進のルールを作成するための会議等の企画、開催</p>
<p>2 患者・家族を中心とした在宅医療を推進するための取組 ※地域との連携に関すること。</p>	<p>①事務局、調整機能を担う方： 医師会の担当委員会委員及び各医療機関の代表者 ②打ち合わせ等の内容・開催方法・回数・参加機関等： ・医師会の担当委員会委員及び事業推進の中心的役割を担う各医療機関の代表者による「ルール作り会議」 ・年度内に 5 回程度開催（うち、補助金対象期間は 3 回を予定） ・参加機関：医療機関、介護サービス、土浦市 ・在宅医療機関がルール作りの経過を後方支援病院へ情報提供し、必要に応じて課題解決に向けた会議に参加を求める。 ③グループ内の取組課題を地域に提案、地域で解決に向けた取組等： ・先進事例等を紹介する講演会への参加を周知、課題解決に向けた知識の共有を図る。</p>	<p>0 回</p>	<p>2 回 (12 月、3 月)</p>	<p>講演会を 1 回開催 会議を 2 回開催</p>
<p>3 在宅医療についての普及啓発活動等の取組を行う取組</p>	<p>記載のポイント（主催、誰が・誰に対して行うのか、開催頻度、取組内容） 医師会が各医療機関と連携し、今後の体制づくりの再構築を図り、段階的に普及させるための広報を行う。 ・事業の内容を分かりやすくまとめたパンフレットを作成し、各医療機関等において掲出する。</p>	<p>0 回</p>	<p>0 回</p>	<p>協議が整わなかったため、事業推進のためのパンフレット作成には至らなかった。</p>

※「参入促進・連携（グループ化）の取組効果」の公表の取扱いについて、1から2の事項については個々の医療機関の情報は公表せず、連携する医療機関内の合計数を公表する。また、3の事項（死亡患者数）については公表の対象とせず、医療機関からの報告のみとする。

【参入促進・連携（グループ化）の取組効果】

1 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数（※実人数を記載）	・塚田整形外科	9 名	10 名	7 名
	・きし整形外科・内科	49 名	50 名	0 名
	・わか葉在宅クリニック	128 名	129 名	92 名
	・	名	名	名
	連携する医療機関内の合計	186 名	189 名	99 名

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数（※実人数を記載）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

2 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	計 画 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計回数	・塚田整形外科	合計回数 27 回(うち往診: 0 回、訪問診療: 27 回)	合計回数:30 回(うち往診: 1 回、訪問診療: 28 回)	合計回数: 29 回(うち往診: 0 回、訪問診療: 29 回)
	・きし整形外科・内科	合計回数 943 回(うち往診:19 回、訪問診療:924 回)	合計回数:30 回(うち往診:20 回、訪問診療: 10 回)	合計回数: 0 回(うち往診:0 回、訪問診療: 0 回)
	・わか葉在宅クリニック	合計回数:973 回(うち往診: 75 回、訪問診療:898 回)	合計回数:975 回(うち往診:76 回、訪問診療:899 回)	合計回数:782 回(うち往診:48 回、訪問診療:734 回)
	・	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)	合計回数: 回(うち往診: 回、訪問診療: 回)
	連携する医療機関内の合計	合計回数:1943 回(うち往診:94 回、訪問診療:1849 回)	合計回数:1035 回(うち往診:97 回、訪問診療:937 回)	合計回数:811 回(うち往診:48 回、訪問診療:763 回)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計回数を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

3 在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）

	医療機関名 ※医療機関ごとに記載	現 状 (補助金交付申請の前月から過去6箇月間の状況)	実 績 (補助金交付申請の月から翌年3月末までの取組)
在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）する合計診療患者数に占める死亡患者数	・塚田整形外科	死亡患者数: 0 名(うち医療機関以外: 0 名)	死亡患者数: 0 名(うち医療機関以外: 0 名)
	・きし整形外科・内科	死亡患者数: 0 名(うち医療機関以外: 0 名)	死亡患者数: 0 名(うち医療機関以外: 0 名)
	・わか葉在宅クリニック	死亡患者数: 12 名(うち医療機関以外: 3 名)	死亡患者数: 9 名(うち医療機関以外: 1 名)
	・	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)	死亡患者数: 名(うち医療機関以外: 名)
	連携する医療機関内の合計	死亡患者数: 12 名(うち医療機関以外: 3 名)	死亡患者数: 9 名(うち医療機関以外: 1 名)

※在宅に赴いてこれから診療を始めようとする、又はその取り組みを拡充しようとする医療機関における合計診療患者数に占める死亡患者数（うち医療機関以外での死亡患者数）を記載。

※「在宅に赴いて診療（往診、訪問診療）」とは、自宅へ赴くものとする。施設、グループホーム、サービス付き高齢者向け住宅等は含まない。

4 グループ化した医療機関が後方支援病院等（グループ内外問わず）への在宅医療患者の診療の紹介数、急変時の受入数及び後方支援病院等からの逆紹介数

	現 状 (グループ化前 (R 3年度 (A)))	実 績 (グループ化後 (R 4年度 (B)))	差 (B) - (A)
紹 介 数	10 件	45 件	35 件
急変時の受入数	4 件	4 件	0 件
逆 紹 介 数	2 件	2 件	0 件

